

権利擁護部会「事例勉強会」について

板橋区地域自立支援協議会「権利擁護部会」が開催する「事例勉強会」において、令和5年度は事例提供・勉強会参加について障がい当事者部会員へご協力を依頼し、より多角的な視点の取入れを図った。

令和5年度に開催した事例勉強会の概要及び権利擁護部会と障がい当事者部会との連携について報告する。

1 実施日等

開催数	日程	参加者
第1回	令和5年10月4日（水） 10時00分から12時00分	権利擁護部会員 5名 障がい当事者部会員 3名
第2回	令和5年12月19日（火） 10時00分から12時00分	権利擁護部会員 6名 障がい当事者部会員 2名

2 事例検討概要（全4件）

※個人情報保護の観点から、事例の詳細は省略

回数	事例の種別	事例の概要・検討ポイント等
第1回	障がい者差別	下肢障がいがある障がい者が、歩行中に区民から好奇の目で見られ、不快な思いをした。 →事例の背景や、障がい当事者、保護者からの経験を共有。障がい理解の普及方法等について検討した。
	障がい者虐待	知的障がい者に対する、母からの暴言・暴力、経済的虐待の可能性のある家庭へのアプローチ方法について。 →母が本人のグループホームの入居に反対している背景を踏まえ、母への説得ポイントを検討。支援者が連携し、家族支援を行っていく必要性について意見が出た。
第2回	障がい者差別	知的障がい者が商品へのこだわりから店舗で店員とトラブルになった場合の対応。 →各支援者機関にて対応した類似事例を共有し、今後の参考とした。
	障がい者虐待	障がい特性により本人の意思確認が困難だが、母によるネグレクトの可能性のある家庭における分離の判断。 →保護者目線からの意見や、施設入所時に保護者を説得した経験を共有。母への心理的ケアの必要性について意見が出た。

3 出席者の感想

- ・ 普段関わっている障がい種別とは違う分野について、理解を深めることができた。
- ・ 障がい当事者の立場として、権利擁護部会にも声を届けることができた。
- ・ 支援者とは違う、障がい当事者や保護者の視点からの意見を直接聞くことができてよかった。
- ・ 障がい当事者、保護者の方の話を聞くことができて勉強になった。

4 事務局（障がい政策課）の振り返り

- ・ 障がい当事者や親からの目線で意見をもらえたことで、より多角的な視点で事例を検討することができた。
- ・ 部会同士の連携が少ない中で、権利擁護部会員と障がい当事者部会員とが連携しあえる貴重な場になったと思う。

5 今後の予定

令和6年度における権利擁護部会との連携については、両部会員の感想・意見を踏まえ、第3回権利擁護部会（令和6年3月開催予定）にて検討する。